

息子や官公庁職員を騙って電話をかけてくる



## オレオレ詐欺急増!!



12月に入り、息子や官公庁職員等を騙った詐欺の電話が増えています!!

(事例1) 被害者宅に息子を騙る男から、「株をやっているお金が足りなくなった。お金を貸してほしい。」と電話があった。翌日、再び息子を騙る男から電話がかかり、「自分はお金を取りにいけなくなったので、〇〇というものが取りに行く。自宅の前で待っていて欲しい。」等と言われ、被害者は自宅付近に現れた男に用意した現金100万円を手渡した。その後、被害者は家族に相談して詐欺被害に気づいた。

(事例2) 被害者宅に市役所職員を騙る男から電話があり、「保険掛金の返金があるが、どこに振り込めばいいか。」等と言われ、金融機関名と口座番号を伝えた。その後、金融機関職員を騙る男から電話があり、「あなたのキャッシュカードは使えない。新しくしなければならない。」「本店からキャッシュカードを取りに行くので、封筒に入れておいて欲しい。」等と言われ、暗証番号も聞かれ答えた。同日、被害者宅を訪れた男に封筒入りのキャッシュカード1枚を手渡した。その後、被害者は家族に相談し、詐欺被害に気づいた。



### だましの手口

#### ●至急お金が必要

「株をしていて損失がでた」「投資で失敗した」等トラブルが発生したことを口実にして、「今日までに用意しないと…」などと言って至急お金が必要であることを持ちかけ、冷静に考える時間を与えないようにします。

#### ●代わりのお金やキャッシュカードを取りに行く

「自分は行けなくなったから、代わりの人を向かわせる」「同僚が行くから渡して」「銀行員が取りに行く」等と言って、現金受け取り役のいわゆる「受け子」が現金を受け取りに来ます。

### 被害を防ぐために・・・

#### 1 電話はいつも「留守番電話」に。また「通話録音装置」が効果的!



犯人は、自分の声が証拠として残るのを避けます。在宅時でも留守番電話にして、必要な電話は後からかけなおしましょう。また、着信時に音声アナウンスが流れ、会話内容を自動録音できる「通話録音装置」が効果的です。自治体によっては無料貸出を行っていますので、お住まいの自治体にお問い合わせください。

#### 2 家族の間で「合言葉」を決めておきましょう。

犯人は「風邪をひいて声が変わっている」等と言葉巧みにだましてきます。声だけでは、電話の相手が家族かどうかわかりません。あらかじめ家族の間で「合言葉」を決めておきましょう。

#### 3 電話をかけなおして相手を確認しましょう。

公的機関や金融機関を名乗る者から預貯金に関する電話がきた場合は、相手の所属と氏名を確認し、一度電話を切ってから、改めて公的機関や金融機関の代表電話を調べて電話をかけるなどして、だまされないように注意しましょう。



お問合せ先

富山県警察本部 生活安全部 生活安全企画課 犯罪抑止対策係  
電話:076(441)2211(代表)